スマート手摺

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後も、すぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

もくじ

取扱説明書 …… 1

施工要領書
- 施工上の注意 …… 2
- 施工手順１（ブラケットの取付け下地について） …… 3
- 施工手順２（ブラケット取付け位置の墨出しと下穴あけ） …… 3
- 施工手順３（ブラケットの固定） …… 4
- 施工手順４（笠木の割付け） …… 5
- 施工手順５（笠木の切断） …… 6
- 施工手順６（笠木の取付け） …… 7～8
- 施工手順７（施工完了） …… 8

株式会社 カイダー・ベースボード工業 https://www.kaider.co.jp

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-4 青木ビル
TEL 03-3861-1931(代) FAX 03-3861-1930

2013年11月作成
2026年05月修正

スマート手摺

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

🚫 この記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。

❗ この記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。

ご利用にあたって

⚠警告

🚫ガタツキのあるものは使わないでください。

本製品にガタツキ等の不具合が発生した場合、そのままご使用を続けますと、手すりが外れて重大事故につながる場合があります。そのような場合は直ちに使用をやめ、最寄りの弊社相談窓口にご連絡ください。

🚫製品を分解・改造しないでください。

施工後は固定部のボルトをゆるめたり、製品を分解・改造しないでください。使用時に脱落したり、予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合があります。

🚫強い衝撃を与えないでください。

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。手すり部分が破損し、思わぬケガの原因になります。

🚫安全荷重以上の力をかけないでください。

安全荷重は、水平・鉛直共１１５０Ｎ(１１７ｋｇｆ）です。それ以上の荷重をかけないでください。ゆがみや脱落等の故障の原因になります。

🚫手すり以外の用途に使わないでください。

手すり以外の用途（ぶら下がる・上に乗る・ゆする・蹴る）に使用すると、使用中に手すりが脱落し、重大事故につながる場合があります。

❗ぬれた手や、石けんのついた手で手すりを使用するときは十分に注意してください。

手や手すりがぬれていたり、石けんがついていたりすると手が滑り、重大事故につながる場合があります。

❗介助が必要な使用者の場合、介助者は事故が発生しないよう十分に注意してください。

使用者が手すりをつかみそこなうことにより、重大事故につながる場合があります。

⚠注意

❗定期的な清掃をしてください。

いつまでもキレイな状態を保つために、定期的な清掃が必要です。普段は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい時は、中性洗剤の溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を軽く拭き取ってください。

🚫アルカリ・酸性（弱酸性含む）・塩素系洗剤・シンナー等を使用しないでください。

お手入れの際、アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤、シンナー等を使用すると、部品が変色したり、劣化することがあります。

🚫クレンザー・磨き粉を使用しないでください。

お手入れの際、クレンザーや磨き粉を粗い粒子を含んだ洗剤や、ナイロンたわし等の傷つけやすいものを使用すると、部品表面にキズがつき光沢を失ったり、変色することがあります。

🚫火を近づけないでください。

本製品にタバコなどの火を近づけないでください。変形、変色の原因になります。

🚫手すりの前に物や家具、什器を置かないでください。

手すりを伝って歩く際の妨げになるものは置かないでください。また手すりに物（消毒液ハンガー等）を掛けると、伝え歩きの妨げになります。

スマート手摺

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱をすると、人がケガまたは物的損害の発生が想定される内容を示しています。

🚫 この記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。

❗ この記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。

施工上の注意

⚠警告

❗必ず強度のある壁や建築構造体に取付けてください。

強度の弱い壁や、石膏ボードで下地の無い壁などに手すりを施工すると、使用中に壁が壊れたり、アンカーが抜けるなどして、手すりが外れ重大な事故につながる場合があります。施工の際は、必ず本書の施工手順にに記載した施工例に沿った下地補強を行ってください。

🚫施工業者以外は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

破損の原因になります。使用中に外れたりして使用される方が転倒しケガをする恐れがあります。

⚠注意

🚫屋外や浴室には使用しないでください。

屋外や浴室など濡れやすい場所で使用すると、変色や変形の恐れがあります。。

❗必ず同梱のビス・ボルトを使用してください。

同梱のビス・ボルトを使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。

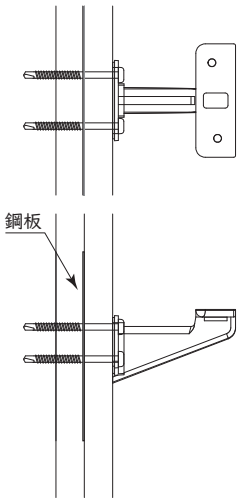
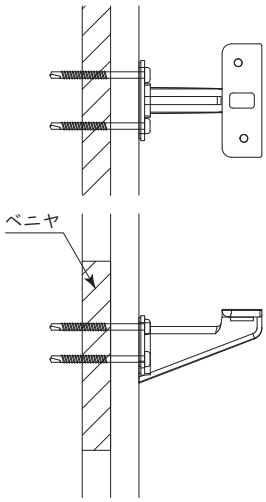
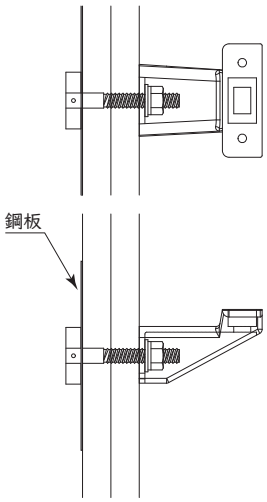
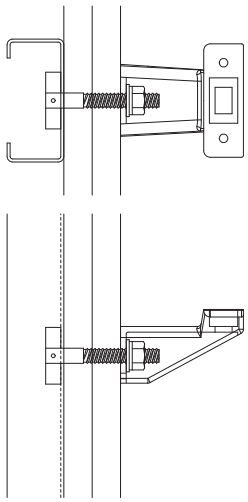
❗取付け完了後、手すりにガタツキがないことをご確認ください。

手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。

施工手順

1.ブラケットの取付下地（別途）について

ブラケットAタイプをご使用の場合は、鋼板下地（0.8ｍｍ以上）または、木下地（ベニヤ12ｍｍ以上）の設置を行ってください。
ブラケットBタイプをご使用の場合は、鋼板下地（0.8ｍｍ以上）または、C型鋼（Cチャンネル）の設置を行ってください。

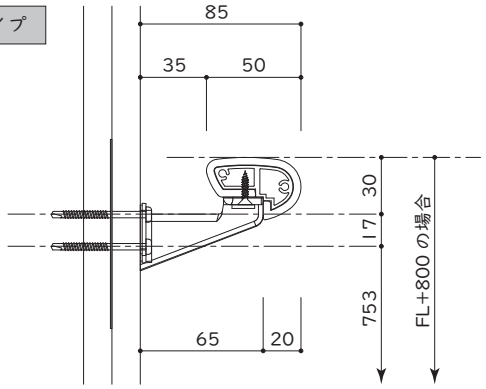
ブラケットAタイプ		ブラケットBタイプ	
鋼板下地（0.8ｍｍ以上）	木下地（ベニヤ12ｍｍ以上）	鋼板下地（0.8ｍｍ以上）	C型鋼下地（Cチャンネル）
			

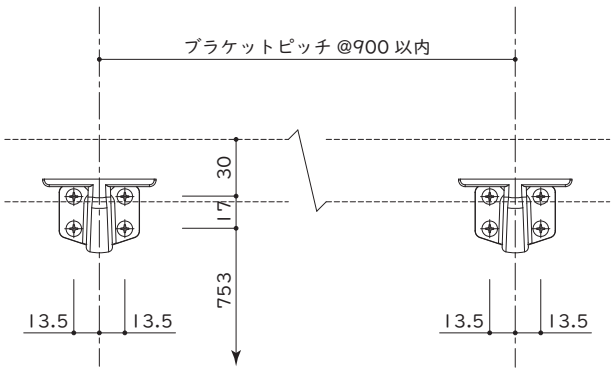
2.ブラケット取付け位置の墨出しと下穴あけ

各ブラケットの取付け位置に、墨出しを行ってください。
電動ドリルでビス（Aタイプ）・ボルト（Bタイプ）用の下穴をあけてください。
（下穴サイズは右表参照）

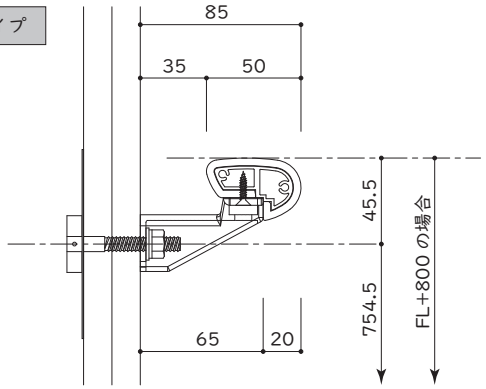
ブラケットタイプ	下穴径（ｍｍ）	ブラケットピッチ
Aタイプ	φ2.8 ～ 3.0	@900ｍｍ以内
Bタイプ	φ8.5 ～ 9.0	@900ｍｍ以内

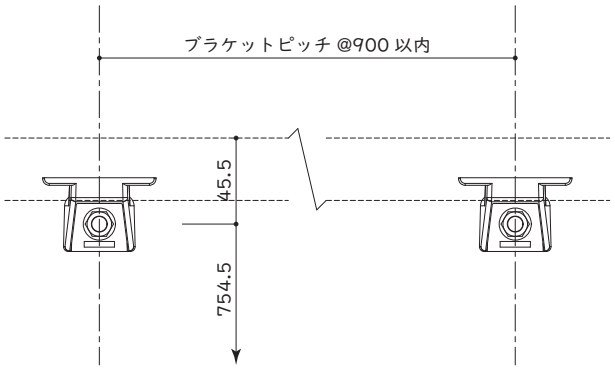
Aタイプ





Bタイプ





施工手順

3.ブラケットの固定

Aタイプ

下穴にピアスネジを用いて固定してください。(右表参照)
固定が完了したらブラケットカバーを取付けてください。

Bタイプ

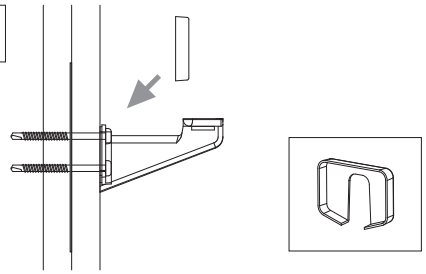
下穴にＩＴハンガーボルトを用いて固定してください。(右表参照)
ＩＴハンガーボルトの固定には、六角ナットＩ２ｍｍ用、ソケット径２０ｍｍ以内をご使用ください。固定が完了したら、ブラケットカバーを取付けてください。

ＩＴハンガーボルト参考寸法

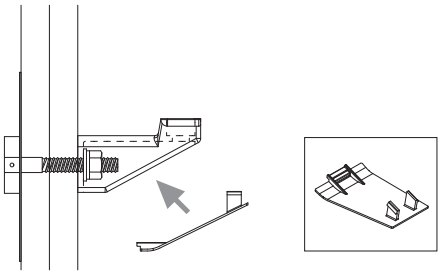
壁厚（ｍｍ）	Aタイプ用ビス長さ(mm)	Bタイプ用ボルト長さ(mm)
12～16	40	45
17～21	40	50
22～26	40	55
27～31	50	60
32～36	50	65
37～41	60	70
42～46	60	75

※取付ビス・ボルト・アンカーの設定および準備はございません。施工業者様において、ご用意ください。

Aタイプ
ブラケットカバー



Bタイプ
ブラケットカバー

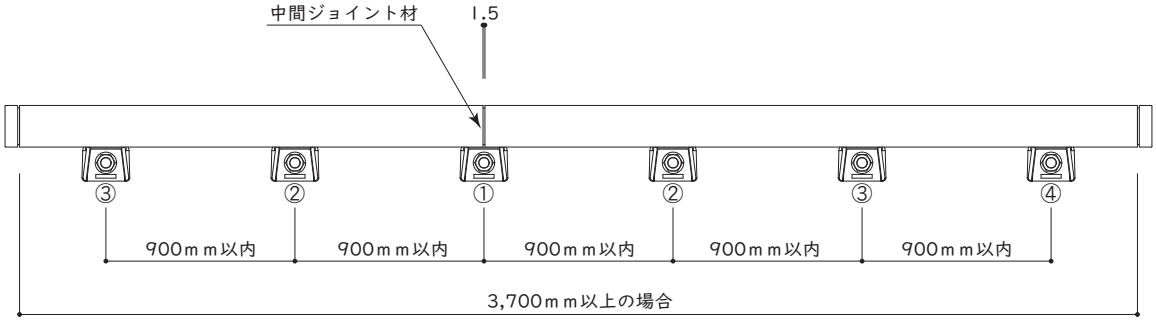


施工手順

4. 笠木の割付け

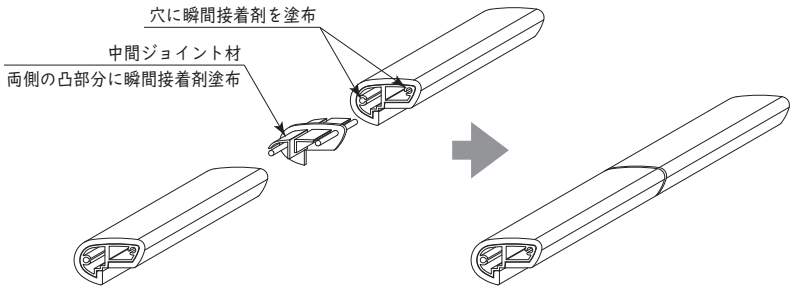
●直線部の割付け

笠木寸法が3,７００ｍｍ以上となる場合、中間ジョイント材を用いてブラケットの上でジョイントしてください。この場合、ジョイントした位置のブラケットを含め、３ヶ以上のブラケットに固定されるようにしてください。



●中間ジョイント材の固定方法

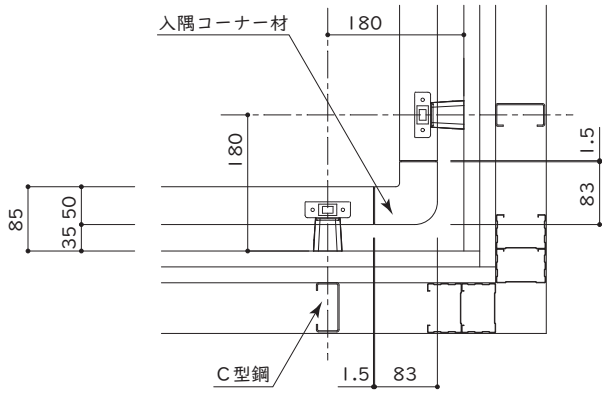
中間ジョイント材の凸部分と、笠木のアルミの２箇所の穴に瞬間接着剤を塗布し、差込んで固定してください。



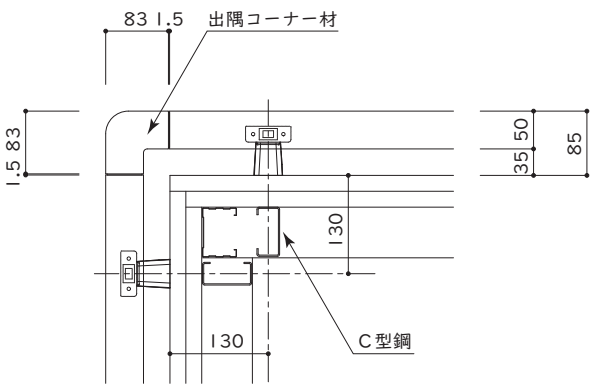
●コーナー・エンド部の割付け

エンドキャップ・入 / 出隅コーナー材の位置関係を考慮し、各設置場所の寸法実測を行ってください。

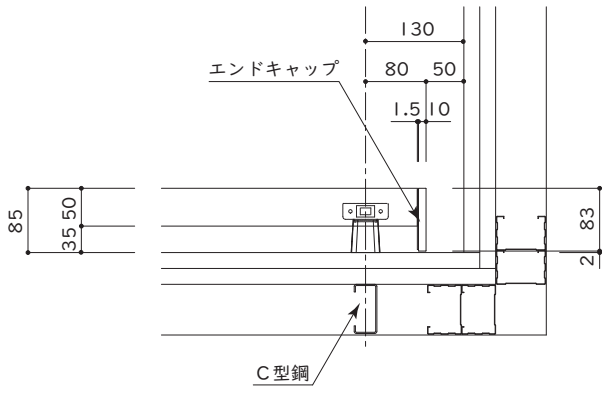
入隅コーナー納まり詳細（参考図）



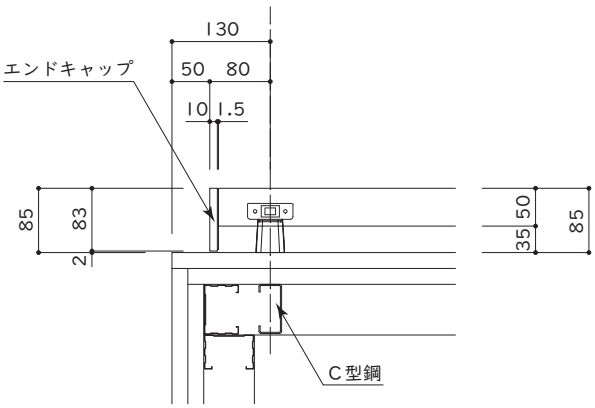
出隅コーナー納まり詳細（参考図）



入隅エンド納まり詳細（参考図）



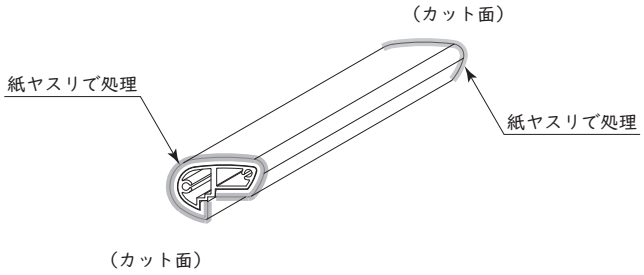
出隅エンド納まり詳細（参考図）



施工手順

5.笠木の切断

割付けした寸法に合わせて笠木を切断してください。

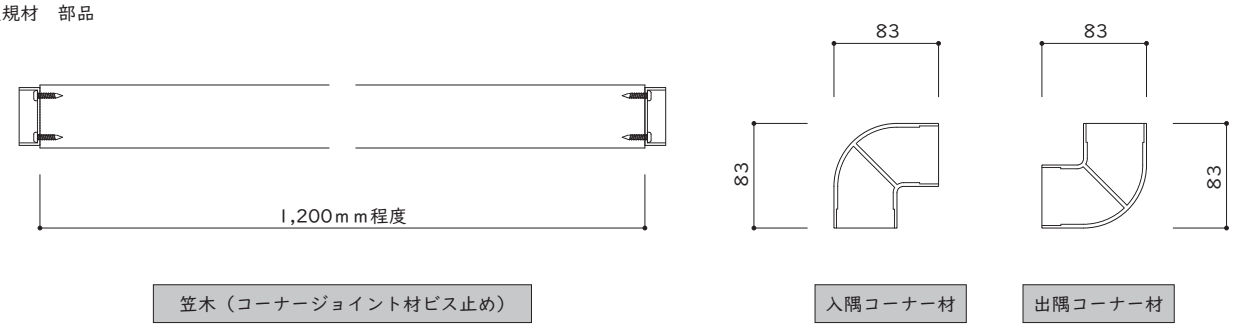


※笠木のカット面の周囲をバリやササクレが出ないように紙ヤスリなどで滑らかに処理してください。（目安は手で触れて滑らかと感じる程度です）

●入 / 出隅コーナー材部の笠木の墨出しと切断

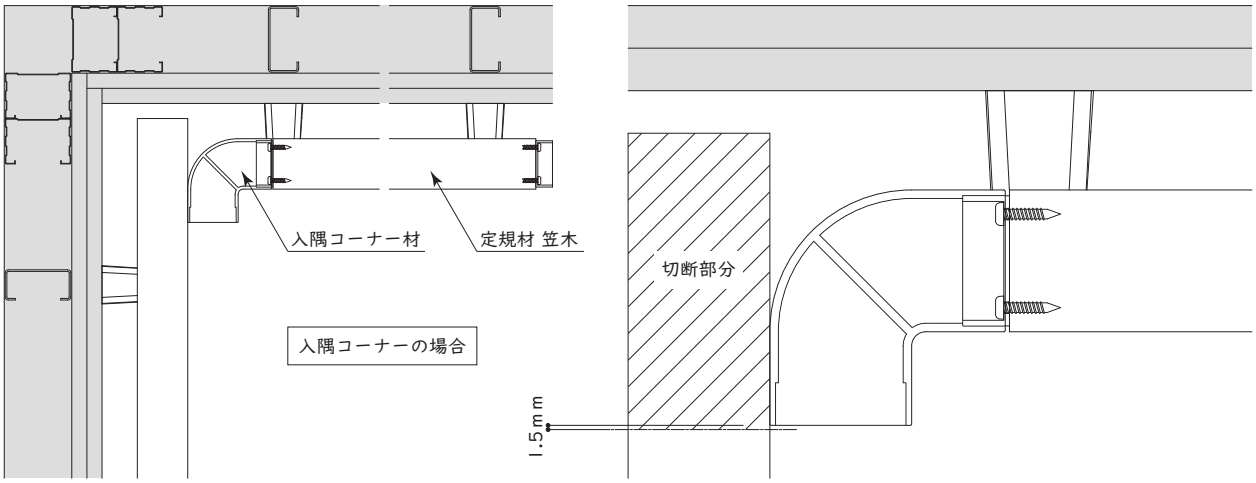
笠木を、下記の定規材（現場で作成）を使用し、切断位置の墨出しを行い、切断してください。

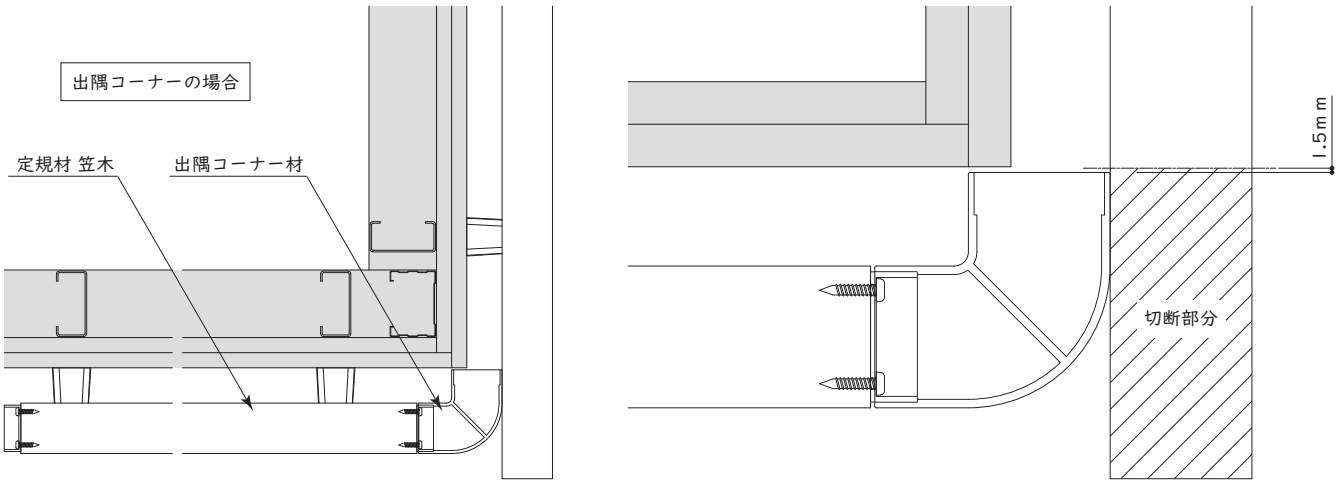
定規材　部品



笠木（コーナージョイント材ビス止め）　入隅コーナー材　出隅コーナー材

下図のように、定規材の笠木に入 / 出隅コーナー材を取付け、切断する側の笠木に当ててください。その際、定規材は２つ以上のブラケットにまたがるように設置し、角度のズレなどがないようにしてください。
定規材を当てたら、入 / 出隅コーナー材の面から１.５ｍｍが切断位置となりますので、墨出しして切断してください。



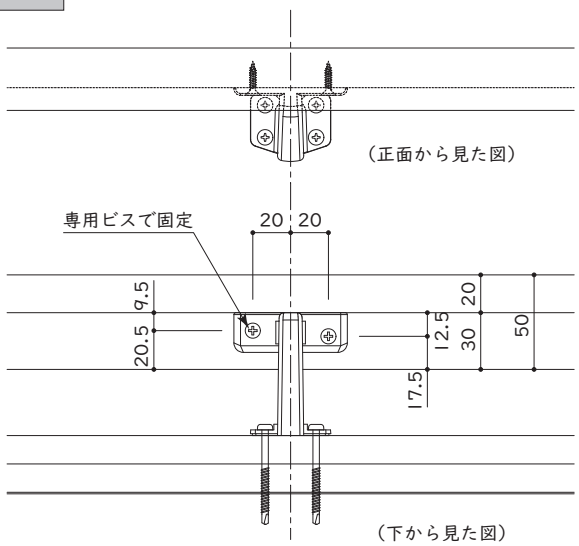


施工手順

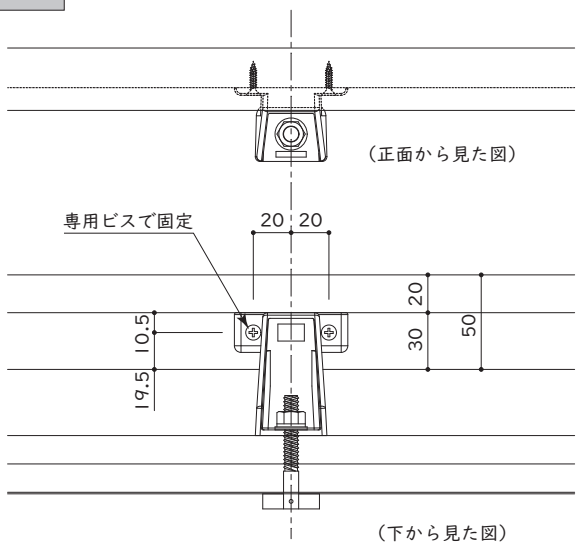
6.笠木の取付け

実測カットした笠木を固定したブラケットに乗せ、ブラケット固定用の皿穴より、専用ビスで固定してください。
（この時、φ2.8～3mmのドリルで下穴をあけることにより作業効率が上がります）

Aタイプ



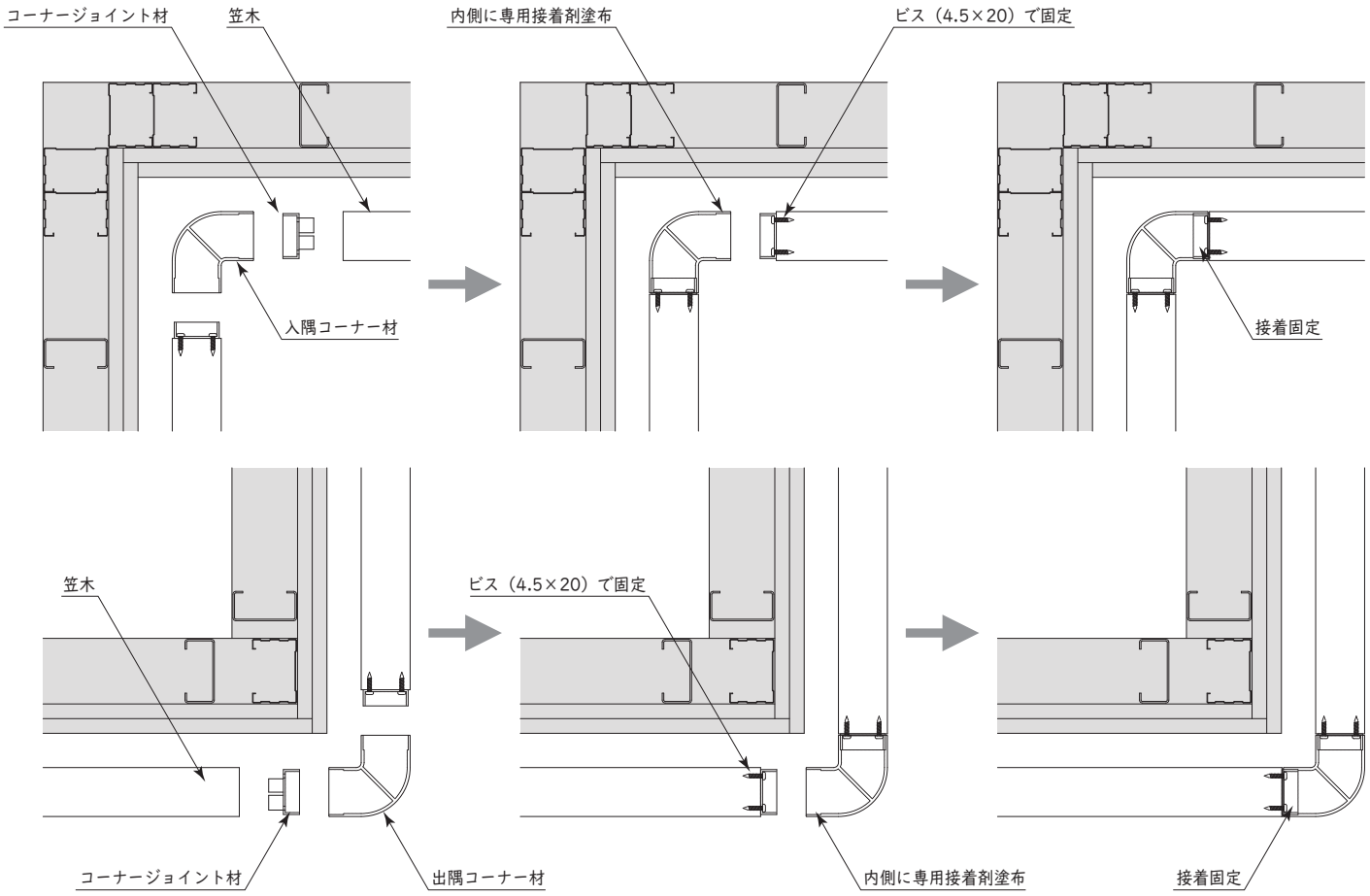
Bタイプ



●入 / 出隅コーナー材と笠木の取付け

笠木をコーナージョイント材側からビス（4.5×20）で固定します。（コーナージョイント材に2ヶ所穴あけされています）
次に、入 / 出隅コーナー材の内側に専用接着剤を塗布し、コーナージョイント材を固定した笠木を差し込んでください。

※奥まで差し込むと、1.5mm幅の底目地になりますので、底目地部分に接着剤がはみ出てしまった場合は、キレイに拭き取ってください。
また接着剤の硬化には1～2日かかりますので、養生テープなどで仮止めを行い、衝撃を与えないようにしてください。

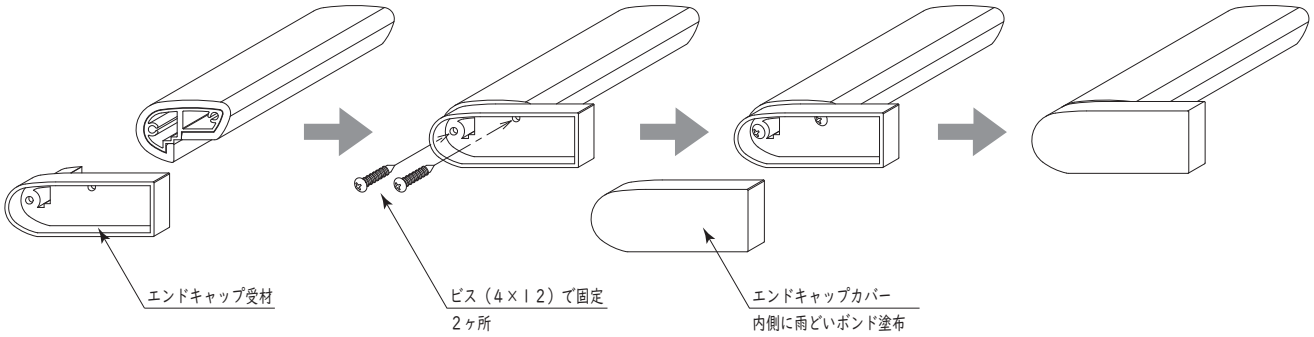


施工手順

●エンドキャップの固定方法

エンドキャップの受材を笠木に差込み、ビス（４×１２）で２ヶ所固定してください。次に、カバーの内側に雨どいボンドを塗布し、受材にかぶせて固定してください。

※１.５ｍｍ幅の底目地仕上げとなりますので、カバーに塗布した接着剤が受材からはみ出てしまった場合はキレイに拭き取ってください。
接着剤の硬化には１～２日かかります。養生テープなどで仮止めを行い、衝撃を与えないようにしてください。



７.施工完了

全ての取付けが完了したら、ガタツキ・ビス / ボルトのゆるみなどの点検を必ず行ってください。
施工時の汚れは、中性洗剤やアルコールなどを用いて落としてください。（アルカリ性・酸性・ベンジン・シンナー等は、ツヤがなくなったり変色の原因となりますので、使用しないでください）